

事務事業名		ごみ減量化・再資源化事業		目標設定日	平成31年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	環境課
	政策	04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	係	衛生係
	施策	02	資源循環の推進	内線電話	245・458
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4	衛生費	未計上	
	項	2	清掃費	実施期間	
	目	2	ごみ処理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	ごみの分別を徹底し、可燃ごみと埋立ごみの減量化及び資源物の再資源化を図る。
	現状・課題	平成19年10月に市指定ごみ袋の有料化とプラスチック製容器包装の分別を開始し、大幅なごみの減量化に繋がったが、その後は大きな減量化は行われていない。		
市が行う理由及びその根拠	その他	廃棄物処理施設の延命化、一般廃棄物処理基本計画		
事務事業概要	ごみの減量化及び資源化を推進し、再商品化のため分別排出された資源物の処理を行う。また、資源物回収団体に報奨金を交付する。			
平成31年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	資源物日曜回収		年10回	
	資源物特別回収		年9回	
	資源物回収報奨金の交付		700,000kg	

事務インフラコスト	項目		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	予算額	当初予算	円		24,378,000	22,785,000
補正予算		円				—
合計		円		24,378,000	22,785,000	21,657,000
決算（見込）額 A			円	21,882,078	22,785,000	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		5,809,141	4,091,000	4,917,000
H31は予算額	一般財源	円		16,072,937	18,694,000	16,740,000
正規職員数			人	1.03	1.05	1.36
人件費 B			円	6,642,470	6,755,700	8,750,240
総事業費 A+B			円	28,524,548	29,540,700	30,407,240
市民1人当たりコスト			円	660	691	711

成果指標	アウトカム	方向	平成29年度		平成30年度		平成31年度		
可燃ごみの減量化		維持	目標	10,900	t	10,900	t	10,900	t
			成果	11,412	t		t	—	
埋立ごみの減量化		維持	目標	115	t	115	t	115	t
			成果	132	t		t	—	
成果指標と目標値を設定した理由	中野市一般廃棄物処理基本計画に基づき設定								

平成31年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	ごみ減量のための施策の考察、啓発活動の強化						

